

オープンデータ官民ラウンドテーブルについて

1. 目的

民間企業等データ活用を希望する者と、データを保有する府省庁等が直接対話する場を設けることにより、民間ニーズに即したオープンデータの取組や民間データとの組み合わせを含めた活用を促進することで、データの価値向上と多様なサービスの出現に貢献する。

2. 参加者

- 有識者（オープンデータワーキンググループ有識者、オープンデータ伝道師等）
 - データの公開・活用を希望する者（ベンチャー企業を含め公募）
 - データを保有する府省庁等（関係する制度を所管する府省庁等を含む）
 - IT政策担当政務、内閣官房IT総合戦略室 等
- ※ 原則公開で実施（一般傍聴者を募集）。

3. 開催実績

第1回 1月25日（木） 「観光・移動」分野におけるデータ活用

第2回 3月27日（火） 「インフラ、防災・減災、安全・安心」分野におけるデータ活用

4. これまでの2回の開催結果概要

民間企業からデータ公開要望と活用による効果が具体的に示されたことを受け、関係府省庁から前向きな対応方針が示されるなど、総じて建設的な議論が行われた。

・第1回 結果概要：https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/data_ryutsuseibi/kanminrt_dai1/kekkaqaiyou.pdf

・第2回 結果概要：https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/senmon_bunka/data_ryutsuseibi/kanminrt_dai2/kekkaqaiyou.pdf

オープンデータ官民ラウンドテーブル当日の進め方イメージ

当日の流れ

対象データ毎に、以下の流れで議論を実施。

①データの公開・活用を希望する者からのプレゼン
データの公開要望について、想定する活用のユースケース（民間データとの組み合わせを含む）をもとにプレゼン。

②データ保有府省庁等からの回答
公開要望に対して、データを保有する府省庁等より回答。

③質疑応答意見交換
プレゼン内容・回答内容をもとに、質疑応答。また、データ公開可否・条件等について議論。

【議論の内容】

- オープンデータとして公開可能な場合
→データの粒度・更新頻度・形式・具体的データ項目等について議論
- オープンデータとしての公開が困難な場合
→困難な理由、条件付きの公開方法（例：限定的な関係者間での共有を図る「限定公開」等）、今後の検討の方向性等について議論
- 公開ができない場合
→公開できない理由について議論

座席配置

